

# 一般質問通告書

平成 23年 1 1 月 1 5 日 提 出

嵐山町議会議長 長島邦夫 様		議席番号 1 3	氏 名 渋谷 登美子 印	受付番号
下記のとおり質問したいので通告します。				
	質問事項	質 問 要 旨		答弁者
1	今後の地域経営について (答弁書不要)	<p>(1) 本年度、ふれあい交流センター、南部交流センター、北部交流センターが位置づけられたが、ふれあい交流センターにのみ、職員を配置。前回の質疑では南部・北部への職員配置は財政上困難の答弁であった。防災・少子高齢化による人口減少を念頭におくと、南部・北部共に職員を配置した経営が必要となる。施設統合や事業の見直し（生き生きふれあいプラザ事業・人権教育推進事業等）によって財政の限界を打破し、北部・南部・市街地の特性を生かす工夫のある地域づくりが必要である。考え方を聞く。</p> <p>(2) ふれあい交流センターには町民活動支援センターの役割を位置づけたいが方向は</p>		町長
2	低線量放射能被ばくへの対応 (答弁書不要)	<p>(1) 外部被ばくの放射線量を測定するために町は富士電機製 シンチレーションサーベイメータ NHC7 購入し、線量を測定し、議会要望にこたえる測定をしたことに感謝する。前回の答弁では、町民が測定したい場合、測定器は貸し出さないが、町職員が測定することは可能ということであった。実際に可能か。</p> <p>各家庭では、精度の高い測定結果よりも放射線量多いか少ないか安全な範囲であるか否かをおおよそ知ることであるため、簡易な測定器を貸し出し用に購入し、高い値が測定された場合、職員が</p>		町長